

# Studyaid<sup>DB</sup> Information vol. 16

今号は、新制度に向けた Studyaid<sup>DB</sup> シリーズの展開と 2002 年版の特集です。

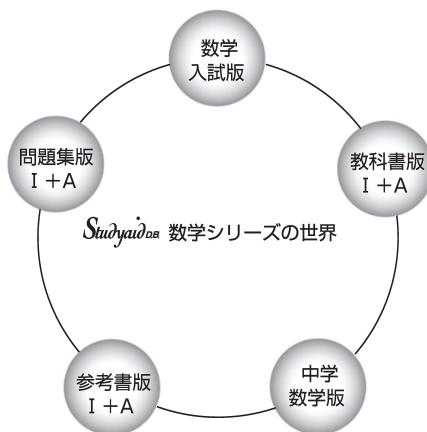
## 新制度のプリントはおまかせ

新制度では、数学入試版、中学数学版、教科書版、問題集版に加え、参考書版が発行されます。これらに収録されるデータは、すべて書籍と対応していますから、これまで以上に様々な場面でご利用いただけます。

### プリント活用例

- 教科書版と中学数学版を併用して、基本問題のドリル用プリントに
- 問題集版と参考書版を併用して、チャートの例題付き演習プリントに
- 数学入試版、参考書版、問題集版を併用して、入試対策プリントに

中学、教科書、問題集、チャート、入試の問題から必要な問題を選んで 1 枚のプリントにまとめる、新制度のプリントは Studyaid<sup>DB</sup> におまかせ下さい。



もちろん、これまでに蓄積されたデータはすべて利用できますから、その総量は他に類を見ないものといえるでしょう。どの学年でもどんな状況でも必ずほしい問題が簡単に見つかる、それが Studyaid<sup>DB</sup> 数学シリーズです。

### 収録予定問題数

	数学入試	参考書版 数学 I+A	問題集版 数学 I+A	教科書版 数学 I+A	中学数学
すべての年度 がある場合	10,300 問				19,000 問
2002 年版	1,700 問	1,300 問	1,800 問	2,800 問	3,300 問

\*掲載されている画面は、2002年7月末現在のものです。

## Studyaid<sup>DB</sup> 2002 シリーズはより便利に

2002 年版の基本コンセプトは、より便利にそしてより美しく。ここでは、いくつかの新機能をご紹介いたします。

### ランダム選択機能

検索した問題を、問題数を指定して一気に選択できるようになりました。選択される問題はランダムですが、基本問題の演習や計算問題のドリルにはもってこいの機能です。

### 問題検索結果



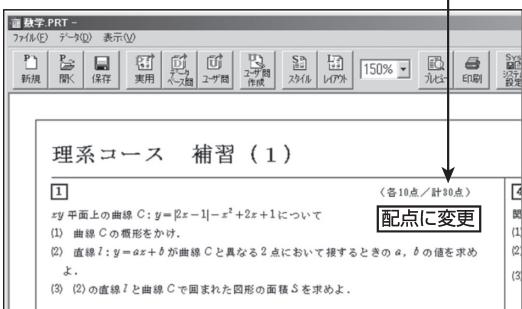
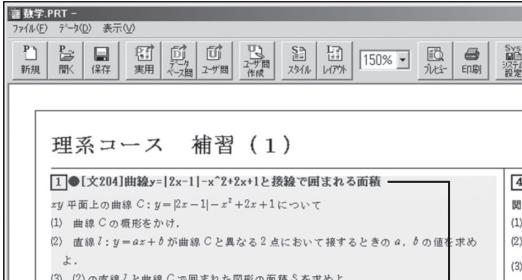
### 問題数を指定してランダム選択



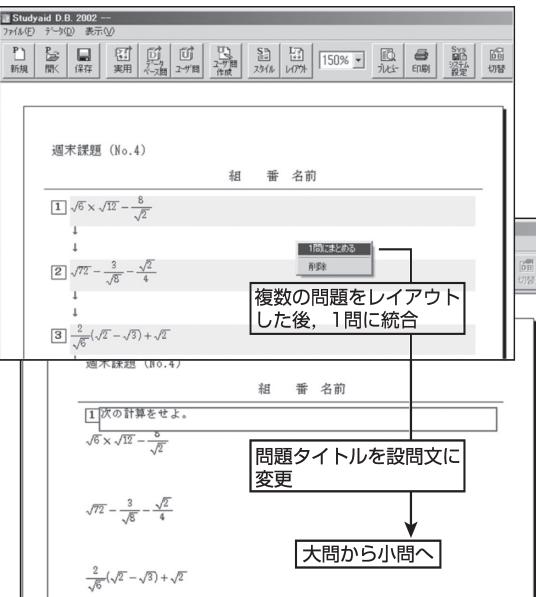
レイアウトへ

## 問題タイトル編集

これまでの表題編集に加え、問題タイトルの変更も自由にできるようになりました。問題タイトルを変更することで、配点欄なども簡単に加えられます。

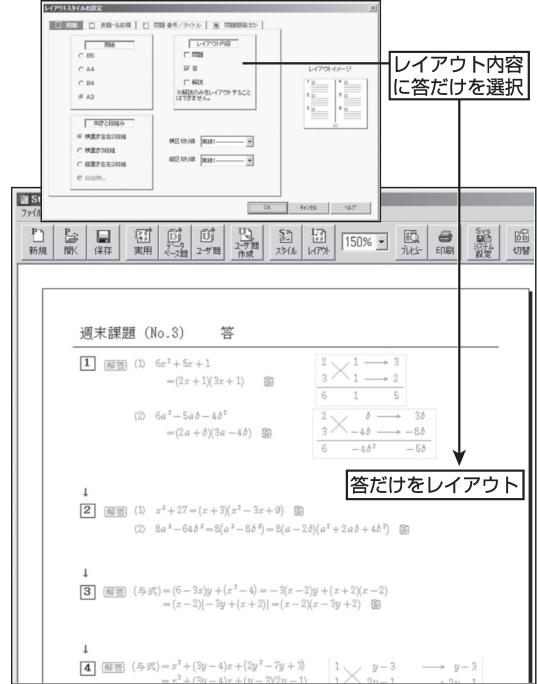


また、複数の問題を 1 つの問題に統合して内容編集できるようになりましたので、問題タイトルの編集機能と併用すると、次のようなこともできます。計算ドリルの作成などにおすすめです。

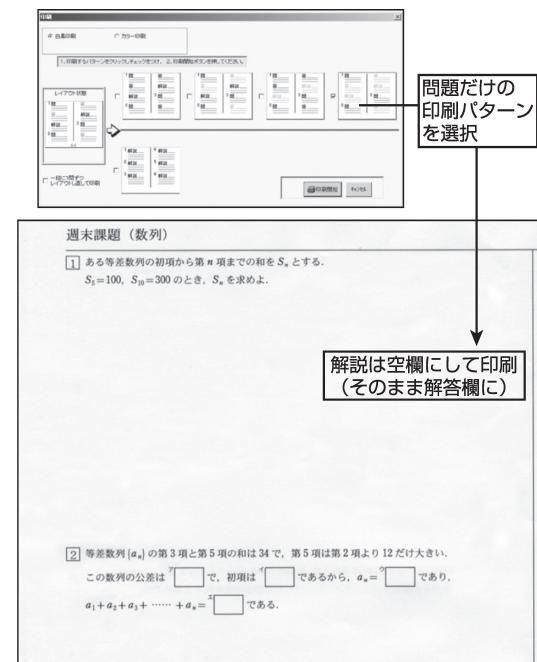


## レイアウト、印刷

スタイル設定では、答のみのレイアウトが可能になりました。配布用の解答プリントの作成などにご利用いただけます。



また、印刷では、解説を空欄にした印刷もできるようになりました。



## 式が更に美しく

指標を表す文字が更に見やすくなりました。従来版とは非見比べてみて下さい。

The screenshot shows two versions of the software interface side-by-side. On the left is the 2002 version, which has a more modern look with larger buttons and clearer text. On the right is the 2001 version, which has a smaller, more compact design. Both versions show a menu bar at the top with Japanese text. Below the menu are toolbars for file operations, text input, and drawing tools. The main workspace contains mathematical expressions and their outputs.

**(1)** 
$$(a^{\frac{1}{2}} - a^{-\frac{1}{2}})^2 = (a^{\frac{1}{2}})^2 - 2 \cdot a^{\frac{1}{2}} \cdot a^{-\frac{1}{2}} + (a^{-\frac{1}{2}})^2$$

$$= a - 2 \cdot 1 + a^{-1} = a + \frac{1}{a} - 2$$

**(2)** 
$$(a^{\frac{1}{2}} - b^{-\frac{1}{2}})(a^{\frac{2}{3}} + a^{\frac{1}{3}}b^{-\frac{1}{3}} + b^{-\frac{2}{3}}) = (a^{\frac{1}{2}})^3 - (b^{-\frac{1}{2}})^3$$

$$= a - b^{-1} = a - \frac{1}{b}$$

Below these calculations, there is a comparison between the two versions of the software's output for a specific equation:

2001年版で出力  
 $y = (x+1)^{\frac{1}{2}}$   
 $y = (1-x^{\frac{2}{3}})^{\frac{3}{2}}$

## 便利な新機能 2つ

直線や線分が斜めの場合、平行であることを表す記号や長さが等しい線分を表す記号をつけるのは、案外面倒なものです。2002年版ではこんな記号もボタン1つでつけられるようになりました。

